

## 大沼商店街活性化計画

【計画期間 H29年度 ~ H32年度】

## 1 現状と課題の分析

①地域概況	この地区は、豊田市の東南部に位置している山間地である。豊田市や岡崎市の中心市街地から車で40分程の場所に位置していて、高原や湖が広がる自然豊かな美しい地区である。当地区の人口は、減少傾向となっている。				
②最寄り駅	名鉄豊田市駅	③最寄り駅からの距離	21km		
④商店街区域	豊田市大沼町内				
⑤商店街区域内の商店数	25				
⑥うち組合加入店舗数	16	⑦うち空き店舗数	0		
⑧商店街の加入店舗構成	生鮮三品（3店18.8%）、衣料品（2店12.5%）、その他小売り（4店25.0%）				
	飲食店（1店6.1%）、サービス（3店18.8%）、その他（3店18.8%）				
⑨商店街の特徴、強み	各店舗は、規模は小さいが地域密着型で、最寄り品から買回り品まで多様な店舗が存在する。				
⑩来街者 (主なもの一つに○)	高齢者	○	主婦	ファミリー	
	若者		観光客	その他( )	
⑪来街者交通手段 (主なもの一つに○)	徒歩		自転車	バス	
	○ 自家用車		鉄道	その他( )	
⑫来街者の来街に要する時間 (主なもの一つに○)	○ 15分未満		15分以上30分未満	30分以上1時間未満	
	1時間以上				
⑬商店街等が抱える課題・問題点	地区の人口減少及び高齢化、店主の高齢化や後継者不足が進み、商店数が減少することが懸念される。時代にあう、あるいは魅力ある品揃えが困難となり商店の魅力が薄れ、客離れが進むことが懸念される。				
⑭地域住民ニーズ	地域住民に合った商品の品揃え 新商品の販売				

## 2 商店街の目指す将来像及び目標

①商店街の目指す将来像	地域住民への生活・コミュニティに対応と観光客の取り込ができる商店街を目指します。
②基本目標 (4年後の達成目標数値)	カード会利用金額約5%アップの100万円とする。 平成27年度実績 売上952,000円

①事業名	大沼こぼっちウォーク事業
②実施予定時期	平成29年4月 ～ 平成33年3月
③具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大沼商店街周辺の立志弘法、八十八ヶ所弘法等の史跡を廻るウォークラリーを開催する。</li> <li>・ウォークラリーの途中数か所で、下山の名物を食べてもらい、ゴール後ビンゴ大会を行う（参加者のみ）。また、特産品の販売を他団体の協力を得て行う。</li> <li>・ふれあい広場でのステージショー</li> </ul>
④必要性・目的	少子高齢化と人口減少への対応が急務である。この問題への対応に、地元商店の生き残りがかかっている。
⑤ターゲット・コンセプト	地元の食と史跡に興味を持たせ、地区外の住民を商店街に来場させる。
⑥事業費・採算性の説明	報償費 50,000円（アルバイト、出演料） 印刷製本費 80,000円（チラシ、ポスター印刷） 広告料 130,000円（DM） 使用料及び賃借料 200,000円（テント等） 保険料 10,000円損害・賠償保険 手数料 10,000円（新聞折込、振込み料） 通信運搬費 10,000円（郵便） 委託費 10,000円（看板製作） 参加者が3,000円の特産品を購入すれば、60万円の売上等の効果が見込める。
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	下山の名物の手作り体験を他団体の協力を得て、手作り体験をしてもらう。下山の名物に愛着を持ってもらうことにより、下山へのリピーターとなってもらう、商店街の活性化につなげていく。 参加者に、大沼商店街のことについて興味を持ってもらうことにより、商店街へ訪れるきっかけをつくり、商店街への来訪を促す。
⑧事業効果	参加者に商店街の取扱品を周知することにより新たな顧客を獲得するきっかけにし、個店の売上アップにつなげる。
⑨目標 評価指標 測定手法	豊田市及び岡崎市の市街地住民へチラシを活用して周知し、参加者200人を目標とする。
⑩推進体制	商工会内に参画事業者を中心とした商店街活性化委員会を設置し、参加者や関係者のアンケート等を参考に、事業推進方法や改善策を検討していく。
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	

## 4 計画期間の事業スケジュール

	29年度【1年目】	30年度【2年目】	31年度【3年目】	32年度【4年目】
事業	4月～事業計画 8月～周知 11月 実施 事業評価・見直し	4月～事業計画 8月～周知 11月 実施 事業評価・見直し	4月～事業計画 8月～周知 11月 実施 事業評価・見直し	4月～事業計画 8月～周知 11月 実施 事業評価・見直し
予算（千円）	500	500	500	500
関連計画や事業	大沼こぼっちウォーク	大沼こぼっちウォーク	大沼こぼっちウォーク	大沼こぼっちウォーク
目標達成状況	参加者数180	参加者数190	参加者数200	参加者数200

# 平成28年度作成 商店街活性化計画 前期計画自己評価報告書（実施H26年～H28年）

団体名	下山商工会	代表者	会長 近藤 孝	連絡先	0565-90-2602
-----	-------	-----	---------	-----	--------------

商店街の基本目標	地元購買力の流失を防止し、名所と名物づくりで観光客の吸引を図る 「まちぐるみミュージアム・大沼」				
実績	ウォークラリー参加者目標 200人 平成26年度 170名 平成27年度 191名 平成28年度 122名	達成度	平成26年度 85% 平成27年度 95.5% 平成28年度 61%		

前期計画で評価できる点	<p>継続して実施したことにより当商店街への認知が向上した。 大沼商店街周辺の歴史的な史跡を活用し、商店街の歩行者人数の増加を図ることができる。 史跡めぐりのウォークラリーを通して多くの人に大沼商店街を知ってもらう。 大沼のことを知ってもらうことにより、大沼に愛着を持ってもらう。</p>				
前期計画の課題点	事業参加者を募集する際に、どの方法が効果的にできるかが課題である。				
次期計画に活かす点	参加者の満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせると95.8%あるため、事業で特産品や史跡を利用した内容については、継続して実施して集客に繋げる。				